



かがわ文化芸術祭2025参加公演

TOYOTA

第1947回トヨタコミュニティコンサート in 香川

高松交響楽団・島田バレエ団 による

チャイコフスキー 作曲

くるみ割り人形

全幕公演



2025年11月23日(日・祝)

14:00開演 (13:00開場)

レクザムホール 大ホール

(香川県県民ホール)

入場料 ¥6,000(前売・当日とも) 全席自由

プレイガイド
[9月20日発売] レクザムホール サービスセンター Tel. 087-823-5023
香川県庁消費生活協同組合 087-832-3822
楽器堂OPUS イオンモール高松店 087-832-8016

主催：高松交響楽団、島田バレエ団、
公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟、
香川トヨタ自動車株式会社、トヨタカローラ香川株式会社、
ネットトヨタ香川株式会社、ネットトヨタ高松株式会社、
トヨタモビリティパーツ株式会社 香川支社、トヨタ自動車株式会社

助成：公益財団法人 置県百年記念香川県文化芸術振興財団

協力：善通寺少年少女合唱団、コーロ・デル・クオーレ

後援：高松市、朝日新聞高松総局、産経新聞社、山陽新聞社、四国新聞社、
毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、
OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、KBN、
CMSケーブルメディア四国、CVC中讃テレビ、MCB三豊ケーブルテレビ、
FM香川、FM815、高松リビング新聞社、ナイスタウン

お問い合わせ：島田芸術舞踊学校 (島田バレエ団)

Tel.087-831-6162 メール s-ballet@adagio.ocn.ne.jp

高松交響楽団 事務局

Tel.090-9550-7441 メール mail@tso.gr.jp



arts in hearts
TOYOTA

第1947回

トヨタコミュニティコンサート

トヨタは”いい町・いい社会”づくりをめざし、
1981年からアマチュアオーケストラ活動を応援しています。



あらすじ

第1幕

クリスマス・イブの夜。主人公クララの家でパーティが開かれ客が次々と到着。そこへ人形使いドロッセルマイヤーが登場し、子どもたちに手品や人形の踊りを見せて楽しませます。ドロッセルマイヤーは子どもたちへクリスマスプレゼントを渡し、クララにはくるみ割り人形を贈りました。この人形をすっかり気に入ったクララでしたが、欲しがった弟と取り合っているうちに人形は壊れてしまいます。パーティの後、クララはくるみ割り人形が気になって、夜中に起きて居間へ…、すると、突然クリスマスツリーが大きくなりねずみの大群がおもちゃの兵隊と戦争を始め、ねずみの王様とくるみ割り人形の戦いが繰り広げられます。クララはスキをみてスリッパを投げるくるみ割り人形が勝利すると、くるみ割り人形は王子の姿になり、クララをお菓子の国に招待してくれます。途中雪が舞う松林にさしかかると雪の精たちが2人を出迎えてくれます。雪の森を通りクララと王子はお菓子の国へ向かいます。

第2幕

お菓子の精たちは、到着したクララを歓迎し、彼らは、色々な国にまつわるお菓子の踊りを次々と披露してくれます。スペインの踊り(チョコレート)、中国の踊り(お茶)、葦笛の踊り(フランスのアーモンド菓子 ミルリトン)、ロシアの踊りトレパーク(飴菓子 大麦糖)、アラビアの踊り(コーヒー)、キャンディーボンボンの踊り、花のワルツ(粉砂糖の精達)。そして最後に、お菓子の国の女王である金平糖の精と王子によるグラン・パ・ド・ドゥ。クララは、素敵な時間を過ごさせてくれたお菓子の国の人々に感謝し別れを告げて帰路につきます。そして、ふと気がつくところはお菓子の国ではなく、家の居間のソファの上…。すべてはイブの夜のクララの夢だったのです。クララはくるみ割り人形を優しく抱きしめました。



出演者

ゲストダンサー



米沢 唯
新国立劇場バレエ団



秋元 康臣
フリー

京當侑一籠
牧阿佐美バレエ団

坂爪 智来
牧阿佐美バレエ団

岩本 正治
フリー

笠井 裕子
フリー

仲田 直樹
スターダンサーズ・バレエ団

勝又 生
麻美バレエランド



米澤 真弓
牧阿佐美バレエ団



大川 航矢
牧阿佐美バレエ団

バレエ(総出演)

公認島田芸術舞踊学校・島田バレエ団

本校は今年で80周年を迎え、高松を中心にバレエ教室をもち、春には生徒バレエ発表会、秋にはバレエ公演を毎年行っており、'82年に島田バレエ団を発足して以来、古典バレエの名作を毎年上演している。公演以外にもサンポートホール高松開館5周年記念「カルミナ・ブラーナ」振付など多方面に積極的に出演し郷土の文化振興に尽力をしている。舞踊コンクール全国一位他多数の優秀なるダンサーを育成し中央のバレエ団にて活躍している。そして全国でも例を見ない地元のオーケストラとの共演にて「眠れる森の美女」「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」「ジゼル」等古典バレエの名作を上演している。



指揮 山上 純司

1960年水戸生まれ。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。同大学院音楽研究科指揮専攻前期修士課程修了。指揮を汐澤安彦、遠藤雅古、渡邊暁雄、ヴィクター・フェルドブリルの各氏の元で学ぶ。作陽音楽大学(現：くらしき作陽大学)にて、大学院2年次より1994年まで専任講師、助教授を歴任。1990年より2年間北西ドイツ音楽アカデミー・デトモルト音楽大学に留学。主にオペラ指揮を学ぶ。帰国後は、日本各地の多数のオーケストラに出演するほか、オペラ、バレエの分野でも数多くの公演を指揮している。高松交響楽団定期演奏会においても、第89回('99)、128回('23)に客演しているほか、島田バレエ団との共催によるバレエ公演への客演は'05年、'15年に続き3度目となる。

児童合唱【第1幕フィナーレ・雪片のワルツ】



善通寺少年少女合唱団



コーロ・デル・クオーレ

管弦楽

高松交響楽団(TSO)

1951年、故 緒方益園氏が県内の有志を募って創立。爾来、半世紀以上に亘る活動を続け、2026年に創立75周年を迎える。これまで130回を超える定期演奏会をはじめ、「蝶々夫人」(2008年)、「カルミナ・ブラーナ」(2009年)、「日本を代表するオペラ歌手による祝賀演奏会」(2018年)出演、オペラ・バレエ等の他団体や地元音楽家との共演、さらには2001年より香川県の主催事業となった「かがわジュニア・フィルハーモニックオーケストラ(KJO)」への演奏・運営面での全面協力など地域に深く根ざした幅広い活動を積み重ねている。1987年「地域文化功労者表彰」を文部大臣より受賞(音楽団体として四国初)。2008年、香川県より第1回「文化芸術選奨」を受賞。

STAFF

制作・演出・再振付 島田 博美
原振付 望月 則彦
バレエ・ミストレス 山内 美和
舞台監督 高橋 宏輝
舞台装置 M・S・U

照明 西山 和宏
(ミウ・ライティング・オフィス)
衣裳 島田バレエ団衣裳部
衣裳協力 アトリエ・ヨシノ 他
かつら 奥松かつら

バレエ団事務局 山内康二朗
舞台写真 岡村 昌夫(テス舞台)
ビデオ撮影 株式会社 EDITION
印刷 株式会社 荒木プリント社